

**製品名: エプシン 2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10555**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	68kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPN2
別名	EPN2; KIAA1065; Epsin-2; EPS-15-interacting protein 2
遺伝子 ID	22905.0
SwissProt ID	O95208
免疫原	抗血清はヒト EPN2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

**背景**

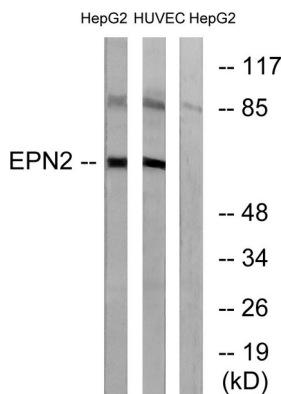
この遺伝子は、クラスリンおよびアダプター関連タンパク質複合体 2 の  $\alpha 1$  サブユニットと相互作用するタンパク質をコードしています。このタンパク質は脳由来のクラスリン被覆小胞分画に存在し、ゴルジ体周辺部および細胞周縁部に局在します。このタンパク質

はクラスリンを介したエンドサイトーシスに関与していると考えられています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月];注意:ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。、ドメイン:DPW リpeatドメインは AP-2 およびクラスリン結合に関与しています。、ドメイン:NPF リpeatドメインは EPS15 結合に関与しています。、機能:クラスリン被覆陥入部の形成とエンドサイトーシスにおいて役割を果たします。、PTM:ユビキチン化されています。、類似性:エプシンファミリーに属します。、類似性:1つの ENTH (エプシン N 末端相同性) ドメインを含みます。、類似性:2つの UIM (ユビキチン相互作用モチーフ) リpeatを含みます。、細胞内局在:細胞全体の点状構造内に存在し、クラスリン被覆小胞と関連しており、特にゴルジ体領域に集中しています。、サブユニット:EPS15 に結合します (類似性による)。 AP-2 およびクラスリンに結合する。、組織特異性:脳で最も高い発現が認められる。肺および肝臓でも低レベルで検出される。、

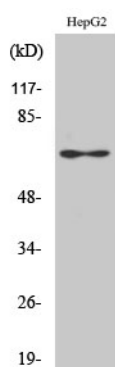
## 研究分野

エンドサイトーシス;

## 画像データ



EPN2 抗体を用いた HepG2 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した Epsin 2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析